

市議団ニュース

第2067号

2023年7月16日
日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203
TEL 23-6023
FAX 24-1684

暑い日が続いています！

根室の6月といえば肌寒い日が多く、厚着して小学校の運動会を見学していたという印象が強いのですが、今年は暑い日が続いています。根室の産業への影響は？

根室の気温、例年と比べ 続くことを願っています。

気象庁の発表によりまして、7月11日までの根室市の前30日間平均気温は15.8度で、平年と比べると3.5度高くなっています。

今年にはエルニーニョ現象（一部ではスーパーエルニーニョ現象とも）発生が予想されており、台風の前線が日本を通りやすくなるとも言われています。今後の気象情報に注意する必要があります。

コンブ漁は順調

6月1日に貝殻島コンブ漁が解禁（9月末まで）され、根室のコンブ漁は最盛期を迎えています。今年のコンブは、気候に恵まれ海水温も高く、成育環境は良好とのこと。これからも豊漁が

サンマ棒受け網漁は？

昨年同様、ロシアによるウクライナ侵略に伴う日本の対ロシア経済制裁の影響で、ロシア主張排他的経済水域（EEZ）での操業ができませんでした。

しかし、今年にはロシアとの調整が順調で、ロシア水域では9月15日から10月末までの操業予定となっています。

ロシア水域での日本漁船に割り当てられたサンマの総数は約3万2千トン。昨年は羅臼沖に漁場が形成されたことから、近いロシア水域での豊漁が期待されます。



酪農、一番草は？

牧草一番草の収穫が終りを迎えています。今年には気温が高く、日照時間も長かったため、牧草も順調に生育したようです。市の担当（農林課）も、「悪い話は聞かない」と述べていました。



根室市の気温が高くなっていることで、コンブ漁や牧草の一番草には、一定の好影響をもたらしているようです。しかし、長い目で見ると、このまま「地球温暖化」が進行し年々気温が上昇することとは、当地の産業にとってむしろ悪影響を及ぼすと考えられます。短期的には、エルニーニョ現象の影響も心配です。

「国会かけある記」

2023年7月10日

アイヌの歴史、文化大切に

参議院議員 紙 智子



白老町にウポポイ（民族共生象徴空間）が開業し、3周年の記念式典に参加しました。国や道、アイヌ協会の役員、自治体首長、国会・地方議員らが集い交流しました。

ウポポイは2020年に開業したものの、コロナ禍のもと、来館者が予定より少なく苦慮したものの、少しずつ増え繰り返して来館する人もいるとのこと。アイヌの歴史、文化を知り、「ウアイヌコロコタン」（互いに尊敬し合う場）として大切にしてほしいと思います。

久しぶりの出会いの場になりました。アイヌ語を母語として守ってほしいとの要望をいただいた三石アイヌ協会の幌村司会長、2008年衆参の国会決議をあげる際にお話をうかがった関東ウタリ会の丸子美記子会長、阿寒の木彫り作家秋辺日出男さん、白老に移住した古布絵作家の宇梶静枝さんの息子で俳優の宇梶剛士さん。ウポポイのPRアンバサダーとして参加し、言葉を交わしました。アイヌ政策やウポポイの今後の課題を探索したいと思います。式典が終わってから、2019年に成立した「アイヌ施策推進法」を審議する際、宮本岳志衆議が意見をうかがった岡田路明白老アイヌ協会事務局長とパートナーの育子さんを訪ねました。育子さんはアイヌ民族の刺繍作家として活動されています。立野広志衆議9区予定候補と、運営されている刺繍サークル「フツチコラチ」（おばあさんのように）のことなど時間が立つのも忘れて聞きました。